

爽風だより

編集・発行

宇都宮短期大学
人間福祉学科同窓会
2007

第4号

学長挨拶 須賀 英之

毎年定期的に「爽風だより」が発刊されていることは、同窓会役員を中心に卒業生のまとまりが良く、また皆様が各方面でご活躍されている証でしょう。これも本学の良き伝統が継承されている賜物と、心から嬉しく思います。

在校生は先輩の足跡を受け継ぐべく、日々勉学やサークル活動に励んでおりますし、五期生も希望の進路を決め社会に巣立っていきましました。

本学は卒業生の頑張りや保護者のご協力に支えられ、本年創立四十周年を迎えることができました。さまざまな記念事業を計画しており、式典や記念短大祭を盛大に開催する予定です。この事業の一環として多目的アリーナも昨秋完成し、短大祭の同窓会総会などを柿（こけら）落としに、各種スポーツ、サークル活動、イベント等に活用して

います。

卒業生の皆様には、創立四十周年記念事業の短大祭などに、ぜひご来校いただきますようお願い申し上げます。より充実した宇都宮短期大学をご覧いただき、さらに在校生や教職員との交流も深めていただければ幸いです。

皆様のご来校を心待ちにしております。

会長挨拶 星 紘子

冬とはいえ、暖かい日が続いています。皆さんお元気でしたでしょうか。

もうすぐ年度切り替えの季節になり、忙しくも充実した毎日をお過ごしのことと思います。

さて、皆さんは、「食」について考える時間が普段の生活の中にありますか。昨夜あなたは何を食いましたか。一週間前の献立を全部思い出せるでしょうか。大学進学や就職、独立、結婚など、いろいろ

ろなきっかけで、私たちの食事は「食べる」から「作って食べる」に変化していきま

す。

私は初めて料理をしたとき、材料の切り方や味付けの調味料に迷った経験があります。

（今でもそうですが・・・）何気なく食べている料理は調理法に合わせた、たくさん工夫がされていますが、いざ自分で作るとなると、はつきり思い出せません。

料理をテキパキと作れる人は、普段から食事に対して意識している人だそうです。切り方や味付けはもちろん、こだわりの素材や食器などを意識しながら食事しているそうです。

食事だけに限らず、仕事、運転、人間関係やリラクセスする時間などあらゆる場面で「意識」を持つことで今までわからなかった新しい発見に出会えます。

身近なものや人と「意識」して関わる事で、自分自身の

成長につながります。このお話を聞いて、是非みなさんにもお伝えしたいと思い、ご紹介しました。

最後になりましたが、この会報を発行するにあたり、ご協力くださいました多くの皆様に御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

また、この会報を読んでくださった会員の皆様、来年度もよろしく願います。

ご意見やお叱りの言葉がありましたら気軽に役員までお伝えください。では、またお会いしましょう！



役員紹介

会長 一期生 星 紘子

副会長 一期生 大山 高正

書記 一期生 海老原由紀

会計 一期生 大島 豊

丸山 和美

二期生 鈴木 陽子

学年代表

三期生 糸川 昌彦

三期生 鶴見 木綿子

新役員紹介

書記 四期生 立野 道子

学年代表

四期生 箕輪 勇士

第四回爽風総会

去る十一月十九日十二時から第四回爽風会総会が行われました。

当日は大学祭の二日目ということもあり、雨の降る天候の中でしたが会員の皆さんにご出席いただきました。

1. 平成十七年度活動報告承認
2. 平成十七年度決算報告
3. 平成十八年度活動計画
4. 平成十八年度予算
5. 平成十八年度に向けての会則改正

6. 新役員の承認と役員の辞任について
7. その他

議事を進めるにあたり、質問ができました。

①決算報告にあるパソコン代はなぜ必要だったのか。
(回答) ホームページの運営や会議の資料作成などにパソコン

コンが必要なため。今後の需要と事務用品の充実のために役員会で検討し購入をしました。

②予算案の支出にある預金の項目について説明してほしい。

(回答) 実際に運営上必要なお金以外を手元においておくことが出来ないの、預金することになりました。入会金が収入源なので来年度からは「特別項目」を作ることのみ皆さんの了解をいただきたいと思っています。

○議案第6号

新役員の承認と辞任について
辞任 書記・杉山 亜紀さん
(理由 県外への転出に付き)

承認 書記・立野 道子さん

学年役員・箕輪 勇士さん

第二期幼児福祉専攻
第二期幼児福祉専攻
会計監査・平野 泰行さん

第四期社会福祉専攻

杉山さんには二年間、役員としてご活躍いただきました。ありがとうございます。新役員の三人をこれからよろしくお願いします。

○議案第7号

①資産管理について

現在の会費より八〇％を定期積み立てにして金利を得る。

②名簿の整理

会員の引越しや結婚などに伴う名簿の整理は5年単位に実施する。その際の名簿整理は学友会に依頼をする。

③会の運営方法

爽風会事務局を会長自宅から大学事務局に変更する。



□ 平成17年度活動報告 □

月	日	内 容
5	11	爽風役員会・会計監査
5	21	爽風総会
7		爽風ホームページ更新
11	12・13	宇都宮短期大学大学祭援助
2	13	爽風だより(第3号)発行・発送
3	7	爽風役員会
3	17	卒業関連行事援助 (卒業パーティーにおいて爽風についての説明)

□ 平成18年度活動計画 □

年	月	日	内 容
18	7		爽風ホームページ更新(予定)
18	11	18・19	宇都宮短期大学大学祭援助
18	11	18・19	爽風総会
19	1	下旬	爽風だより(第4号)発行・発送(予定)
19	3		卒業関連行事援助(卒業パーティーにおいて爽風についての説明)(予定)

□ 平成17年度決算報告 □

【収入の部】

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
17年度繰越金	4,241,683	2,588,235	1,653,448	
4期生会費	2,370,000	1,910,000	460,000	4期生237名分
卒業企画残金	0	231,500	▲231,500	
その他	0	24,036	▲24,036	アルバム代立替金、利息
合 計	6,611,683	4,753,771	1,857,912	

【支出の部】

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
事務費	30,000	30,000	0	FD、タッグシール代
通信費	150,000	100,000	50,000	切手、はがき代
印刷費	120,000	100,000	20,000	会報印刷代
大学祭援助金	150,000	100,000	50,000	
卒業パーティー参加費	12,000	12,000	0	役員2名分
活動予備費	200,000	200,000	0	パソコン購入代
補助費	100,000	100,000	0	接待費、役員活動費
小 計	762,000	642,000	120,000	
預 金	5,849,683	4,067,735	1,781,948	足利銀行
合 計	6,611,683	4,709,735	1,901,948	



○爽風総会の様子

今年は大学祭の二日目ということもあり例年よりも多く参加していただきました。

レクリエーションフェスティバル



宇短大祭



卒業記念パーティー



会員の近況

【二期生】

社会福祉専攻

海老原 由紀さん

最近、ある人にこんな話をされました。「福祉施設の採用試験で、あなたは自分に出来ないことを他人に命じることが出来ますか？」と。

私は今、児童養護施設で働いていますが、日々の生活の中で《自分に出来ないことを相手に命じる》という場面が多くあります。例えば、「宿題は帰ったらすぐにやろう。遊びに行くのは宿題の後！」という毎日のやり取り。ランドセルを下ろしたのと同時に、出かけてしまう子供もおり、「やることをやりなさい！」と頭から角が生えたような私。しかし、振り返れば私自身も勉強が嫌いで、すぐに遊びに出かけてしまうような子供でした。

自分ができていなかったにも関わらず、それを子供たちに強いるのはとても苦しいこと。けれど、子供の今後の人生において必要な事ならば伝えていこう。それが、少しだけ《人生の先輩》である私が出来ることなのかな…と、考えました。自分のことを棚に上げてしまわぬよう振り返ることと、苦しいと感じる《心》は忘れずにいたいと思います。

ふと足を止め、自分を見つめ直す機会を与えてくれたある人の一言でした。答えに正解・不正解は無いように思えます。みなさんはどう考えますか？

介護福祉専攻

半田 景子さん

私は、さくら市にある老人福祉施設で介護職員として働いています。

施設ではユニットケアを三年前より行っています。ユニットケアが始まったところ、

利用者は何をしたいのか分からず、落ち着かず、職員も混乱する日々が続きました。そこで、各ユニット毎に特色作りをすることになり、利用者と一緒にお菓子を作ったり、要望に合わせて買い物などを兼ねた外出を行いました。その後は利用者に笑顔が戻り、自らできることを模索して行うようになったのです。

職員もゆとりのある介護を行うことで、以前は食事が全介助だった方も自力で摂取するなど、残存機能の維持と増進をすることができました。今後も生活の質を向上するべく、勉強の日々です。

最後に、介護職を長期間やっていると、どんどん狭い見方になりマンネリ化してしまいます。そこで、辛い仕事と言われている介護の仕事で、幸せに・楽しくするため、私の勤めている施設では若い人の新しい考え方や意見を必要としています。新しい風を吹き込む事でよりよい介

護を提供していきませんか？

介護の仕事には苦しいことも多々ありますが、笑いも学びも多く存在しています。私はこれからも介護福祉士になつてよかったと実感できる毎日を送りたいと思います。

【二期生】

社会福祉専攻

堤 浩良さん

卒業して早三年が経ち、私も今社会人としての自覚を持ち仕事に励んでいます。

私は卒業してから、すぐに母が病気になる、母の介護をしていましたが、母の病気は治らず他界してしまいました。それからすぐに福祉職には就かず、今はスーパーで日々お客様により良い商品を提供できる業務にあたっています。

私は去年正式に入社しましたが、福祉職も販売業も人に

喜んでもらうというところは一緒です。これからも人に愛される人間になるために日々精進していきたいと思っています。

社会福祉専攻

藤江 亜紀さん

妊娠38週に入った私の楽しみは我が子と胎動を通して会話することです。推定2800gの我が子は声をかけるとお尻や足を元氣よく動かしています。

妊娠してから母親になるという実感が湧くまでに時間がかかりました。

十ヶ月という期間は、自分の体の一部として命を育て、母親にそして父親になるという心構えをするとても大切な時間だと思っています。もうすぐ我が子と対面する瞬間がやってきます。誕生までの残りわずかな時間、胎動での会話を楽しみたいと思います。

介護福祉専攻

若林 圭子さん

私は福祉用具のレンタルや販売をする会社に就職しました。

介護保険制度の中で、直接的な介護ではなく福祉用具貸与という部分から間接的に在宅生活を送る利用者さんのお手伝いをさせていただいています。

具体的には最低六ヶ月に一度福祉用具をレンタルしている利用者さんを訪問して、福祉用具の適合性の確認と、安全点検を行っています。正直、学生の時は介護ベットの組み立てたり、車椅子の点検修理をする仕事に就くとは、夢にも思いませんでした……。

忙しい毎日ですが利用者にあった福祉用具を選定したり、半年ごとに利用者さんやご家族に会うことが楽しみになっています。

特に半年前より状態が良くなって、車椅子使用だった方が歩行器や杖で移動が可能になったときはとても嬉しいです。

大学で学んだコミュニケーション技術などを多くのことに活かして、これからも利用者さんを陰ながら支え、笑顔で楽しく働いていけたらと思います。

介護福祉専攻

鈴木 陽子さん

私は卒業後、鹿沼市にある特別養護老人ホーム・ハーモニーに就職をして介護職に就いています。

ハーモニーでは私が就職する前の年からユニットケアになり、初めの頃は職員も慣れない様子で、以前の流れ作業的な介護の面影がまだ残っていました。しかし、外部から先生をお招きして施設内の改装や職員の意識改善を行い、ご利用者さんの住みやすい家

になれるよう日々がんばっています。

私のいる「ひだまり」というユニットは男性七名・女性十名の十七名のユニットです。名前の通りとても明るく毎日楽しく過ごしています。

去年は一緒に畑で野菜を育てて、それを調理して食べました。誕生会には誕生者が食べたいお菓子をみんなで作ってお祝いをしたり、お酒が飲みたいという方がいれば一緒に居酒屋にも行きました。

入居者さんの満足された笑顔を見るとやりがいを感じ、次の企画への意欲に繋がっています。

今まで特別養護老人ホームに三年間いましたが、四月からはグループホームに移動になります。今から不安でいっぱいですが、これまで学んだことを活かし、今までと変わらず笑顔でおひとりお一人と関わっていききたいと思っています。

【三期生】

社会福祉専攻

平野 泰之さん

私は卒業後、出身地でもある旧烏山町（現在は合併して那須烏山市）社会福祉協議会に勤めています。社会福祉協議会では地域福祉・居宅介護・在宅介護事業などさまざまな活動をしています。

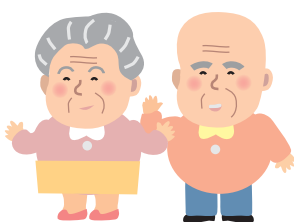
私はその中の地域福祉業務に関わっています。小中高生への福祉体験やボランティア養成などの企画と調整をしています。

また、老人クラブや母子寡婦福祉会、心身障害児者父母の会の事務局としてもイベントの調整を行っています。社協に就職して二年になりますが、まだまだ自分自身わからないことばかりで、それだけ社協は幅広い活動をしているということです。

私が働いている社協には、

たくさんの方が出入りをしてるので、窓口での対応はいつも注意をしています。地域の方と一番に接することが出来るのは窓口での対応だと思います。相手に役立つ情報を提供し、少しでも不安を取り除いて問題解決に繋がるような窓口対応を心がけています。

また、それにはコミュニケーション能力がとても大切だと実感しています。話の中から相手の情報をいかに多く聞き取れるかが今の課題です。法律や行政が支援しにくい領域の方へ、支援をしていくのが社協だと考えています。今後も社会福祉・地域福祉をより深く学んで、自分の住む街のためにがんばっていきたいと思います。



介護福祉専攻

谷田部 優貴さん

私は現在、認知症対応グループホームで介護職員として働いています。利用者様に「その人らしい生活」をしていただけるように心がけながら支援をしています。入居者が少人数で、個人と密接に関わることが多く、介護技術や福祉レクリエーション技術で学んだ話し方や対応の仕方がとても重要になっています。毎日楽しみながら仕事をする事が出来ていますが、利用者様全員が認知症という難病を持っているので、その対応に悪戦苦闘の日々です。今後は大学で学んだ知識と、現場で学んだ技術の双方を活かしていきながら職場の同僚や、利用者様、ご家族の方に信頼される人柄と技術を身に付けていきたいです。

幼児福祉専攻

宇津木 隆司さん

私は保育園で一〜二歳児の子どもたちを担当しています。日々子ども達と体を動かして一緒に楽しく遊んでいきます。子ども達がしてはいけないこと、悪口を言ったのを自

分で叱るときに、私自身の普段の言葉遣いがしつかりしていただろうかと気づかされることがあります。今後は仕事とプライベートの両面から、保育士としての自分をもっと高められるように努力していきたいと思っています。



【四期生】

社会福祉専攻

長尾 友美さん

那須療護園で身体障害者の介護をしています。「長尾らしさ」を大切にし、何事も楽しんで取り組むことを目標に毎日を送っています。

仕事を始め早一年。未だに時間にルーズ、泣き虫、甘え癖は治りません。学生のうちから《色々な場で発言する》《時間を守る》ということをしてこなかったのが、社会人になり苦労しました。今は職場にも恵まれ、楽しく仕事をしています。日々勉強の毎日で挫けることもあります。地元や職場、短大の仲間たちに支えられ、前向きに頑張っています。

これからも感謝の気持ちを忘れずに楽しく仕事をしていきたいです。
笑顔で毎日過ごしたいな！

介護福祉専攻

寺門 攻泰さん

特別養護老人ホームさつき荘で介護福祉士として日々、ご利用者の生活をサポートさせていただいております。

入社して一年が経とうとしています。環境に恵まれ、優しい先輩職員の方々、個性豊かなご利用者の方々と楽しい日々を送っております。ですが、そのような恵まれた環境にあっても現実の介護の難しさ。実際に関わってきた方の「死」にも向き合わなければならぬということでも辛い悲しい経験もしました。そのような状況の中、家族や友達、周りの方々に支えられている自分がいます。これからも様々な経験をする中で、短大で学んできたことを振り返り、そして感謝の気持ちを忘れずに成長していけたらいいなと思います。

幼児福祉専攻

立野 道子さん

宇都宮市にある伊東文化幼稚園で少年おれんじ組の担任をしています。入園当初は集団生活になれず、いさかいが絶えなかった子供たちにハラハラ戸惑う毎日でしたが、運動会や発表会を

通し、クラスの団結力も深まり、私自身も先生としての自覚が出てきたように感じます。泣いているお友だちに「俺のハンカチで涙拭けよ」と頼もしい男の子。「雪ってキラキラして魔法みたい！」とかわいらしい女の子。今は年中への進級に向けて、鉄棒や上り棒など



いろいろなことにチャレンジしています。出来なかったことが出来るようになったときの子供たちの笑顔は格別です。
成長を一緒に喜ぶことが出来る毎日をととても幸せに思います。

先生からの一言

卒業生に向けて

人間福祉学科介護福祉専攻

教員 原田 欣宏

「根性」とは、意志強固にして忍耐強く、努力家であること

仕事をするのも遊ぶのも、すべて自分のために行うこと。手をかければその分だけ楽しみが増えます。そして精神的にも知識も充実します。恋愛も利用者に対する思いやりもしかり、どれだけ「相手を思う心」をもって時間を費やしたかによって、あなたの感じる充実感は大きく変わってきます。

「根性」という言葉、実はあまり好きではありませんでした。それはこの言葉をいわれるシチュエーションがいつも「がんばらされている」

ように感じていたからです。でも、よく考えてみてください。い。やっぱりがんばらないと、本当の楽しさって手に入れないのです。「根性」って自分自身を鼓舞するための言葉なのです。

私が皆さんと同じ年齢のころは、まだ自分が何をすべきか迷っていました。福祉の世界で生きていこうと決心できたのは三十歳のころです。皆さんもきっといろいろなことを考えると思います。本当によい結論を出すためには、目前にある仕事や課題に全力で立ち向かうことです。そこから導き出された結論は必ずよい方向に結びつきます。逆に、手を抜いて出した結論であればそれなりのものになるでしょう。

卒業おめでとう。そしていつまでも心に「根性」を忘れない。

同窓会ってドキドキするよね

教員 西尾 敦史

そんなことない？

だって青春（もう使わないか）の時期に同窓会として過ごした仲間は何ものにも代えられない空気や感情を共有している。だからとても恥ずかしい。同窓会に行くのに勇気がある。

同窓会じゃないんだけど、最近三十年ぶりくらいに学生時代の友人と大きな野外コンサートに行った。マスコミにもたくさん取りあげられたからテレビで見た人もいるんじゃないかなあ。コンサートもとっても良かったんだけど、終わってから二人で飲んだ。

つつい話題は、恥ずかしいあの頃へ。飲むうちに、酔ううちに話は恋愛方面に。「あの時、こんなことがあったよね」なんて本人も忘れていた事実が明かされる。本人は記憶の片隅に追いやっている。

た罪状が掘り起こされる。恥ずかしいんだけど、心の奥の何かに火が灯る感じがしたんだ。

それが実は三十年後の中年を過ぎたばかりなのに、あまり劇的なドラマは起こらない日常を生きる燃料になる。

だから、同窓会は大事にしたいよね。

教員 市川 舞

教員センターには、卒業生がよく訪れます。近況など、ひとしきりおしゃべりをし、また日常にかえっていく—そんな姿をみると、大学が皆さんにとっての「心の基地」になっているのかな、と思うことがあります。

子どもは、自分を愛し、守り育ててくれる大人の存在がいつも身近にあることで、安心して外界と関わります。はじめは、文字通り寄り添うことで安心感を保ちますが、い

つも自分を大切に見守ってくれる存在がある、という思いが確かなものになるにつれ、少しずつ離れながら、外の世界で自分を発揮するようになります。この「確かな思い」をもつことが「心の基地」となり、一人の個としての活動を可能にしていきます。

私たちは普段の生活の中で「心の基地」を意識することはそうないかもしれません。しかし、大切な局面で、時間や空間的距離を越えて「私の中に確かにある」ことを実感し、勇気付けられるのでしょう。そんな場を心の中にもちたいものです。

事務局 島田 宏幸

卒業生の皆さん、お元気でお過ごしでしょうか。

宇都宮短期大学人間福祉学科もすでに卒業生が五期を迎え、卒業人数も千人を超えました。本学科の特色として、

折りに触れて多くの卒業生の方が大学へ来られます。その際、事務局へもほとんどの卒業生の方に寄っていただき、皆様の元気なお顔や活躍の様子をお聞きすることがあります。

そのようなお話を聞くことが事務局員としても大変うれしく思います。

その中には結婚された方やお子様を連れてこられる方もおられますし、私自身もこの六年の間に二人の子供の父親となりました。本当に人間福祉学科が開学されてから月日が経ってきているのを実感いたします。

このように、卒業生の皆様がそれぞれに人生を築かれ、また社会で活躍されているということが、学科の歴史を築いているということなのだと思います。卒業生の皆様と会うにつれ、我々事務局員も在校生のサポートをよりいっそう頑張ろうという気持ちになります。近くにお越しの際は是非

非大学、事務局へお立ちより下さい。



○多目的アリーナ

短大に足を運んでくれた人はご存知だと思いますが、昨年、平成十八年十一月十八日（土）に多目的アリーナが完成しました。



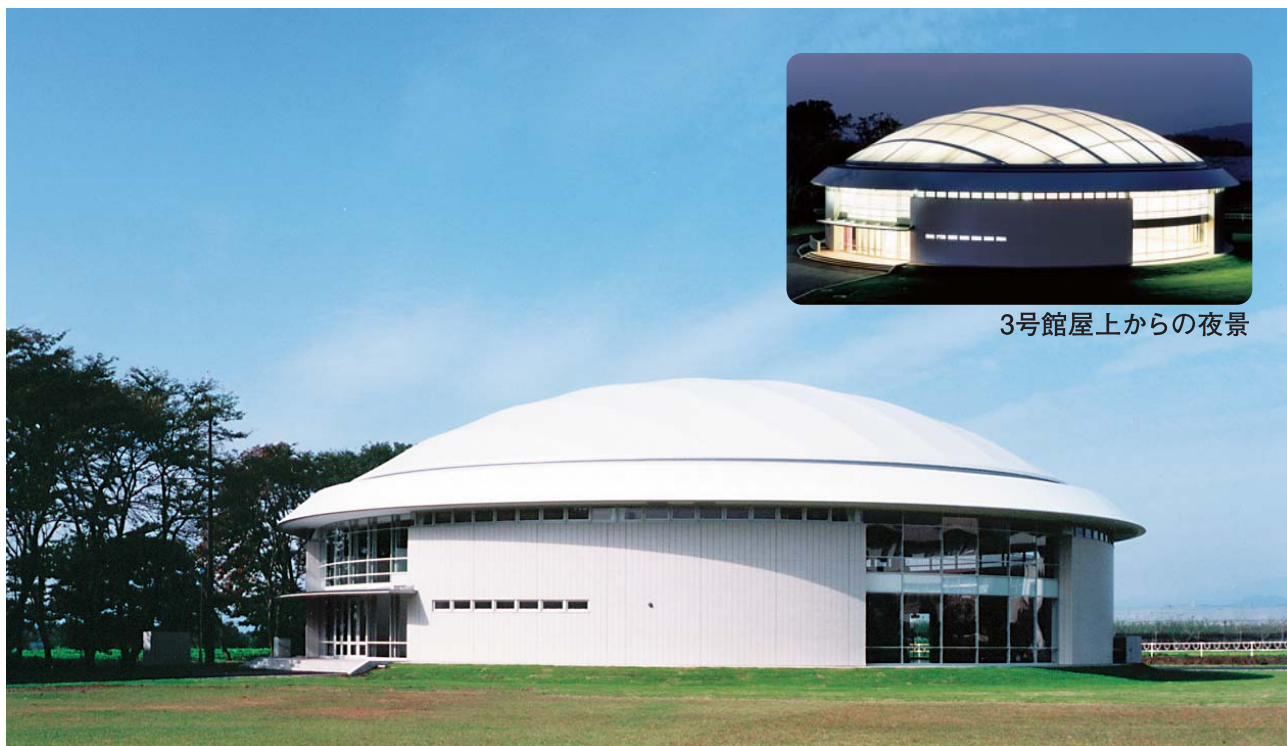
体育実技



アリーナ全景



3号館屋上からの夜景



3号館エントランスから

お知らせ

○第五回爽風総会

日時 平成十九年十一月

（宇短大祭中）

尚、詳細については、後日ご連絡いたします。



コンサート



音楽実技

○編集後記

今年でこの会報も四号目となりました。この四年、作成にあたり様々な方に助けられ、なんとかここまで来たという感じです。改めて、お礼を言いたいと思います。

この会報の編集をしていて、毎年いち早く会員の皆様の近況を聞くことができ、会報を作成しながら皆さんのがんばりに励まされています。

皆さんがこの会報を見て、励まされたり、がんばろうと思っただけのものでもこれからの作っていききたいと思えます。

また、会報に載せて欲しいというものがあれば、是非、役員まで申し出ていただきたいと思います。皆さんが見て楽しい会報にしていきたいと思えます。

同窓会事務局

〒324-0607

栃木県那須群那珂川町矢又648

TEL 0287-9214461

印刷 ヤマゼンコミュニケーションズ(株)